

# 自主学習のすすめ＜中学校 音楽科（例）＞

1 自分の好きな音楽について、友達や先生に紹介する紹介文を作ろう！

2 ねらい

・多様な音楽に触れ、そのよさを味わって聴くことができる。

3 準備物等

・ワークシート ・筆記用具 （あればCD等の音源）

4 活動の流れ・手順



- 1 紹介する曲を決める。教科書掲載曲以外でも選べる。
- 2 曲名と作詞者・作曲者、アーティスト名等、分かる範囲でワークシートに記入する。
- 3 ただ「好き」「いい曲だから聴いて」と書くのではなく、**音楽を形づくっている要素**に注目し、相手に、その曲にどんなよさがあるか、伝わるように書く。



**音色**（声や楽器の音色など） **リズム**（拍や拍子、リズムなど）  
**強弱** **速度** **旋律**（音のつながり、音階や調）  
**テクスチャ**（音や旋律の様々な組み合わせ方や重なり方）  
**形式** **構成**（反復・変化・対照など）

5 備考

☆書き方例

私の好きな曲は、〇〇〇さんの「△△△」です。**全体的に暗め**<sup>(注1)</sup>なところが好きです。歌えるようになりたいと思い、口ずさみますが、音を取るのが難しいです。**音が高くなったと思ったら急に低くなる**<sup>(注2)</sup>。これもこの曲の魅力かなと思います。「～」からサビで、**リズムがかわり**<sup>(注3)</sup>、**音もどんどん高くなっていく**<sup>(注4)</sup>ので盛り上がります。ここが自分の一番のおすすめです。

簡単なワークシートを用意し、評価をすることも可能です。評価の観点となる**太字ゴシック**について

注1…全体的に暗めとは調を捉えている→**旋律**についての気付き

注2…音の高低は音のつながりを捉えている→**旋律**についての気付き

注3…リズムの形の変化はリズムを捉えている→**リズム**についての気付き

注4…音がどんどん高くなっていくのは音のつながりを捉えている→**旋律**についての気付き



学校再開後、歌唱活動やリコーダーを使う活動が難しいと思われるます。これからも生徒に音楽に親しめるよう、授業の導入時の5分程度を利用し、生徒が作成したものを紹介し合う時間を設けるのもよいですし、掲示物で紹介するのもよいと思われるます。

## ☆授業の予習や学習の幅を広げる学習へ…

教科書を開いて、見て、様々な音楽に触れてみよう！



生徒が教科書を開いて見るきっかけづくりを提案しました。教科書を見て、気になった曲を聴いて自分の部屋で軽く口ずさんでみたり、教科書を読んで学習内容を予習したりして見ることに使えます。読書カードのように、「日付」「曲名」「作者」「曲名から受ける印象」「聴いての感想」等、簡単にメモできるようなワークシートを作成して生徒に渡すのもよいです。様々な音楽に触れるよい機会です！ぜひ活用してみてください。**下枠に示すホームページに教科書に載っている曲の音源があります。**

●教育芸術社のHPは <https://www.kyogei.co.jp/>へ

●教育出版社のHPは <https://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>へ